

認知症疾患医療センター研修会 報告

【目的】認知症疾患・治療について理解を深め、介護現場で活用して頂く。また、研修会を通し現場の課題を抽出する。

【日時】令和元年7月12日（金）13:30-15:00

【場所】南部地区医師会館 小講堂 【参加人数】31人（スタッフ4人含む）

【案内先】南風原、与那原、南城、八重瀬の入所施設、ヘルパー・訪問看護事業所等

【内容】

当院医師 国吉直美先生より①認知症について、②診断の手順、③主な認知症、④治療に関する説明を行った。

高齢者は代謝・排泄機能低下、複数疾患の合併から多剤併用になりやすく、副作用が起きやすいこと、「症状が残存しても患者・家族が日常生活を大過なく過ごせる状態」が薬物療法の目標であること、訴える症状全てが治療対象でなく、経過を見ながら少量ずつ調整する等、内服調整時の留意点についても説明した。

講義後は、参加申込時の質問への回答、会場からの質疑応答を行った。



【研修会アンケート まとめ】

申込時

1、認知症の研修会で、聞いてみたい内容をお聞かせ下さい

- ・被害妄想など何かに固執して、興奮状態の時の適切な対応について（訪問介護員）
- ・主にレビー小体型認知症の薬物療法について（医師） ・認知症の疾患別特徴・対応方法（介護職）
- ・受診につなげたいが、本人拒否で受診が出来ない。認知症の診断が付き、内服治療開始するも、自宅に閉じこもりサービスにつながらない等、本人の拒否が強いケースへの対応を教えて欲しい（保健師）

2、今後の研修会に希望する内容

- ・疾患の理解→各認知症で症状に差があるのか ・これまで一番大変だった事例を聞いてみたい
- ・ケアについて→サマリヤ人病院での認知症ケアについて知りたい、望ましいケアとは
- ・周辺症状の治療・対応→リバスタッチ等の対象者・効果、具体的な症状に対しての治療法・対応法
- ・明らかに認知症だが、病院受診を拒む方を初診につなげる方法
- ・認知症の症状が悪化傾向にあるが、受診していない方への促し方

参加後

1、本日の研修会について 良かった：22 普通：1 その他：1

- ・とても分かりやすく、薬の知識も学べたので良かった。ありがとうございました（看護師）
- ・認知症の医学的説明があり、ひとくりに「認知症」とされているが、症状に合わせた個人への対応が必要だと分かった（介護職）
- ・認知症にも色々なタイプがあると知った。それぞれに合わせ対応出来るよう参考にしたい（介護職）
- ・薬物療法は、症状を完全に取除くのではなく、ある程度症状が残存してもよいとするのは、なるほどと思った。知らなかった情報が聞いて良かった（看護師）
- ・認知症でも、色々な症状があることを知った。先生の説明も分かりやすかった（介護職）
- ・知識がゼロだったが認知症について、広く深く勉強できた。今後のケアにつなげたい（介護職）
- ・資料を元に説明されており良かった、時間もいい位だった（介護職）
- ・「分からないこと、不安なこと等がある時に相談下さい」と話されていて、ケアに不安がある時にとても心強いと思った。ありがとうございました（ケアマネ）
- ・日時は良かった。参加しやすかった（ケアマネ）
- ・確認不足だが、沖縄県医師会へ行ってしまった。『東風の里内』と記載があれば助かった（介護士）
- ・分かりやすい研修だった。他の職員も参加させたいので、研修会の予定があれば案内を希望（介護職）
- ・薬の内容についても聞いてよかった（OT）
- ・薬剤に関する情報は分かりやすかった（施設管理者）
- ・薬について知ることができよかった（社会福祉士）
- ・勉強になった（介護職）
- ・流れが早く、理解が追いつくのが難しかった（介護職）
- ・ほんの少しだが理解できた（訪看職員）

2、認知症の方への対応・支援、医療連携でお困りのことがあればお聞かせ下さい。

- ・各利用者に合わせた対応ができていないか不安。変化し続ける症状の把握が出来ない（介護職）
- ・1人暮らしの方で、幻覚や物盗られ妄想等を訴え、家族は遠方におり電話で対応・生活費振込、
- ・本人は病院嫌いで受診は拒否、病気の症状は把握できない状況。足腰は丈夫で、日ごとに症状が変化。入浴はなんとか出来ているが、拒否も多い（訪看職員）
- ・地域包括支援センターで、認知症初期集中支援チームを担当している。特に認知症の方は、病院から包括へ繋ぐ際文書で案内する、病院から包括へ連絡すると、本人・家族も安心すると思う（社会福祉士）
- ・BPSDの症状が、強い方へのPtとしてのアプローチ法を知りたい（PT）



★ご参加頂きありがとうございました★